

第6回奈良ESD連続セミナー概要報告

奈良教育大学 中澤 静男

- ◇開催日時 2018年10月17日19時～22時
- ◇会場 次世代教員養成センター2号館多目的ホール
- ◇参加者

辰巳（広陵中）、中澤哲（平群北）、阿彌・池見・大西・圓山（飛鳥小）、河野（附属小）、島（郡山西小）、西口（奈良市教委）、後藤田（成蹊大）、三木・樋口（都跡小）、中澤敦（きんき環境館）、堀口（奈良学園小）、蔵前（真美ヶ丘小）
糸・阿部・菱谷・丸本・山田・西田・板口・藤本・藤井・片山・谷垣（院生・学部生）北村・中澤（奈良教育大学） 計28人

◇内容

1. 授業構想の検討

(1) 「さまざまな心と体について考えよう」板口咲希



- ・LGBTについて知る。
 - ・性別を4つの枠で捉えて、自分の性について考える。
 - ・多様な性のあり方に触れ、自分の性は自分で決めていいことがわかる。
- 導入の工夫 アニメ・雑誌・芸能人の語りを使うというのも子どもには身近である
その人についてどう思うかな？という展開もあるが、クラスと同じ悩みをもつ子どもを傷つけることにならないか？配慮が必要

取り扱う教科：道徳・総合 → 中学校2年生道徳に取扱いがある

自分の性について考えるより、ジェンダー（ランドセル：男の子は青・女の子は赤といった）への関心を高める、再考させるという方向

昔は認められなかったが、今は認めるか、将来は認めるか という方向に

自分はどのように生きたいか、という方向

(2) 「地方自治・よりよいまちづくり人間になろう」阿部孝哉

- ・地方自治の概要を理解する。
- ・地域の課題を多様な立場人々の対立・合意へのプロセスを通して地方政治に主体的に関わることの必要性を理解
- ・地方自治に関わりたいか

○福山市鞆の浦の架橋計画での賛成派と反対派のロールプレイ

合意に挑戦することで、問題解決においてカギになることを探す

→学習内容がよく練られている

ロールプレイの役割 意見の根拠資料はあるのか。（文献に掲載されている発言を根拠に）

他地域から来た人の立場に立つことはできるか。地方から来た人が地方の政治に関われるか。

興味がない人（なぜ興味がないのか）に着目すると政治参加の意義が見えてくるのでは。

最後は地域に返すという流れもあるのでは（地域調査をからめて）。時間数が足りない。



(3) 「ことわざ紙芝居を作ろう」 丸本まりな

- ・ことわざは知識や教訓を短く表したもの
- ・ことわざは平安時代からあった(時間軸)、海外のことわざ(空間軸)

→ SDGsとの関連は

国による違いを提示するなら国際理解教育に SDGsの平和を単元目標に加えてもいい。地域に由来のあることわざを調べると地域を知ることになる SDGsの11に自分たちでことわざを考えさせることで、意欲化が図られるのでは。

年齢的に時代を取り扱うのは難しいのでは

海外のことわざを扱うのは年齢的に難しいのでは

ことわざを分類することで、SDGsとの関連が見えてくるのでは

(4) 「チャンス逃すな！箕面っ子！」 菱谷

「きたきた通信」実はアクセスが悪い。北大阪急行線・延伸工事中

- ・人が増えてくる2020年に向けて箕面のよさを伝えることができるようにしたい
- ・今は車社会で排気ガスも問題に
- ・鉄道ができることで病院やお店ができ、雇用も生まれる。住み続けることができる街に
- ・地下鉄なので、緑の多い環境も守ることができる
- ・反対意見もある
- ・鉄道完成にあわせて自分たちにできることを提案できるように

→

3・4年の地域学習の方に内容があっているが、広げるには6年生がいいかもしれない
町の移り変わりや道路の関わりをとらえると、鉄道ができることで町がどう変わっていくかを考える意欲になる。考える手立てにもなる。そのことを考えると、3年生では難しいだろう。

学習後の子どもの姿を明確にする

メリット・デメリットの両面を取り扱うのがよい

様々な立場の人をゲストティーチャーに招いてはどうか。

他市からきている住人が多いので、よさを見出す学習は意味がある SDGsの11



(5) 「不老不死の追求と持続可能な社会」 藤本 七彩

- ・生命倫理について取り扱いたい。不老不死の追求は社会にどのような影響を与えるのか。
- ・小説「百年法」の問題点を考える。百年で人生が強制終了
- ・医療倫理の四原則の意義を考える
- ・百年法の施行に対してディベートを行う。

→



フィクションを教材にする場合、机上の空論になりかねないので注意

不老不死とE S Dの関わり 人間が生き続けることで資源を浪費する、

ゴミ問題・居住地がなくなる

終末医療や終活、延命治療を考える方向へ持っていくとどのような意見が出てくるのか

※導入はフィクション ディベートのテーマは現実の問題を取り扱っては。

人生の最後を他人に決められること

高校生だけでなく、異年齢で話し合う場面をもつと学びが豊かになる。

長さより生き方を考えさせる学習

(6)「過去の経験に学ぶ～自然と共に生きるわが町、府中町づくり～」藤井 愛華

- ・つたわってきたことと地域の歴史をつなげる
- ・今回の水害を導入に
- ・防災に対する行動の変革を目指す

→

生徒にとって身近な問題なので当事者意識をもちやすい

総合でなく、地理的分野でも地形の特徴を押さえたうえで取り扱うことができる

水害発生時に自分がどう行動すればよいかを考えさせる（自分だけ・自分だけでなく）

カルタの使い方：防災カルタといえるものがある

石碑：大正時代の水害に関する石碑

町の誇り、防災に焦点化してはどうか

小学校の防災教育と中学校の防災教育（地域の防災・減災の主体としての中学生）

防災と町の良さをどうつなげていくか

行政の防災基本計画も学習資料として活用してはどうか ハザードマップなども

防災：自助（地形）・公助（行政）・共助（いいつたえ）・歴助（歴史から学ぶ）



※次回の第7回奈良E S D連続セミナーは11月14日（水）19時～ です。

